

**2009年3月期
決算説明会**

**2009年5月18日
株式会社 きもと**

2009年3月期
【 決算概要 】

代表取締役社長 丸山 良克

2009年3月期 トピックス

1. 買収防衛策の導入

2008年6月27日開催の第48回定時株主総会にて承認

2. 営業拠点(広島支店、沖縄営業所)を

2008年9月30日付で閉鎖

3. 自己株式30万株取得

実行期間 2008年11月12日～12月12日

株主還元の充実を図るとともに、資本効率の向上に資するため

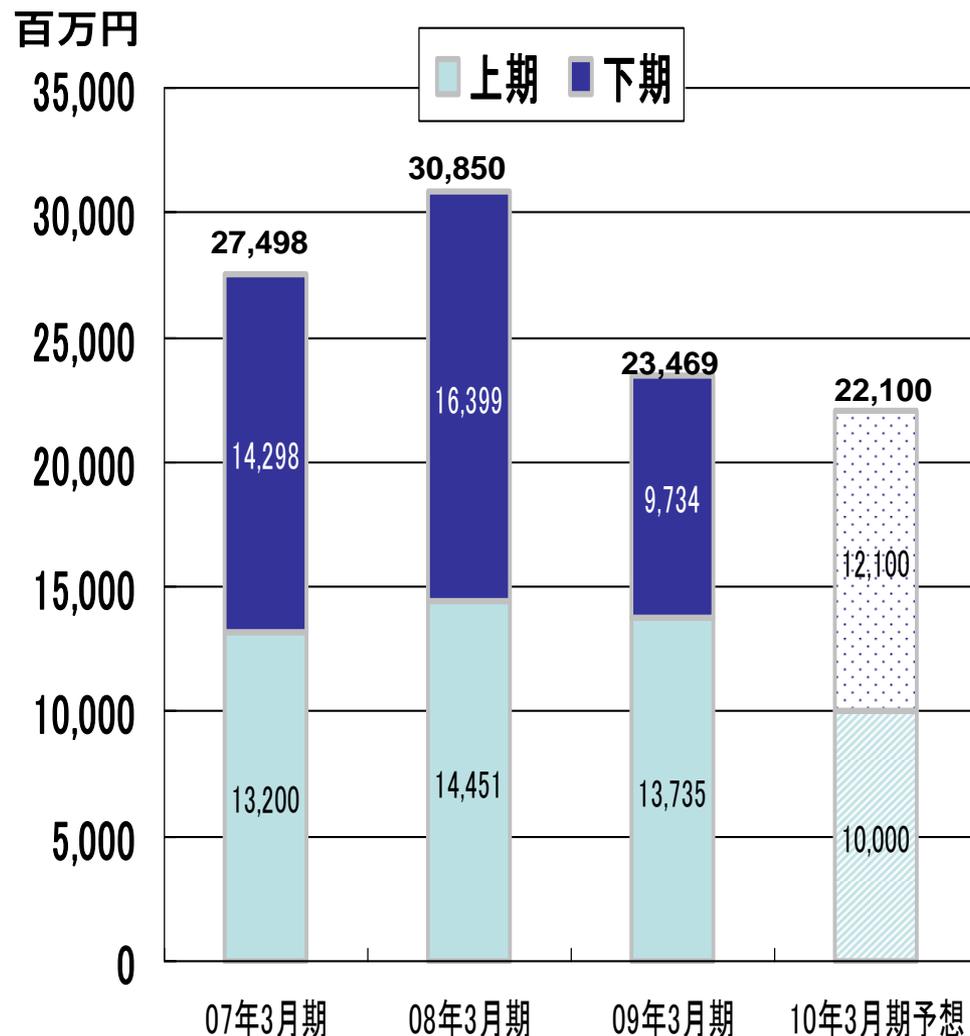
連結 業績サマリー

(単位:百万円)

	当期 2009年3月期	前期 2008年3月期	増減	
売上高	23,469	30,850	△ 7,381	△23.9%
営業利益	△ 162	3,009	△ 3,171	—
経常利益	△ 310	2,986	△ 3,296	—
当期純利益	△ 896	1,646	△ 2,542	—

- 拡散フィルム、ハードコートフィルムの出荷量減少
- 情報システム事業が黒字達成
- 投資有価証券評価損203百万円および連結子会社における固定資産の減損損失150百万円を特別損失に計上

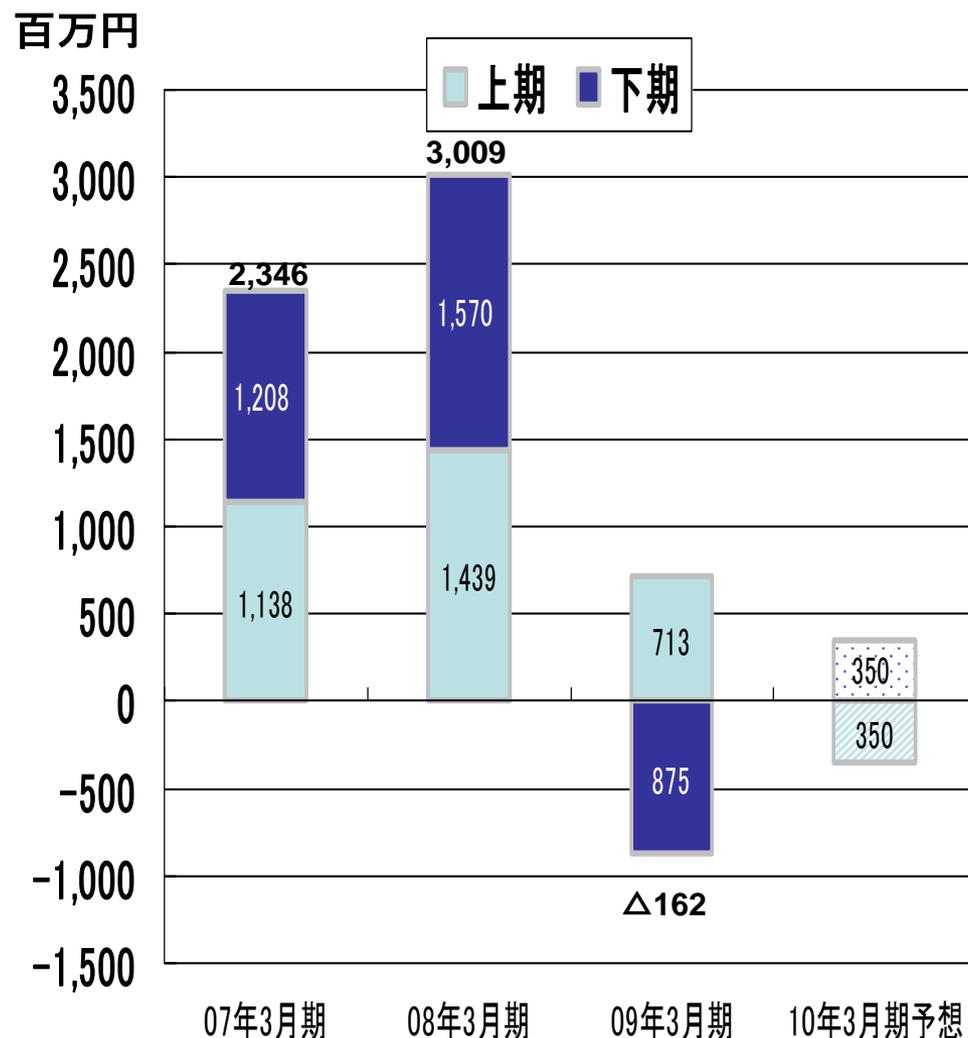
連結 売上高推移



業績比較

- 当期
23,469百万円
- 前年同期比
7,381百万円減
- 2010年3月期予想
22,100百万円
- 前年同期比
1,369百万円減

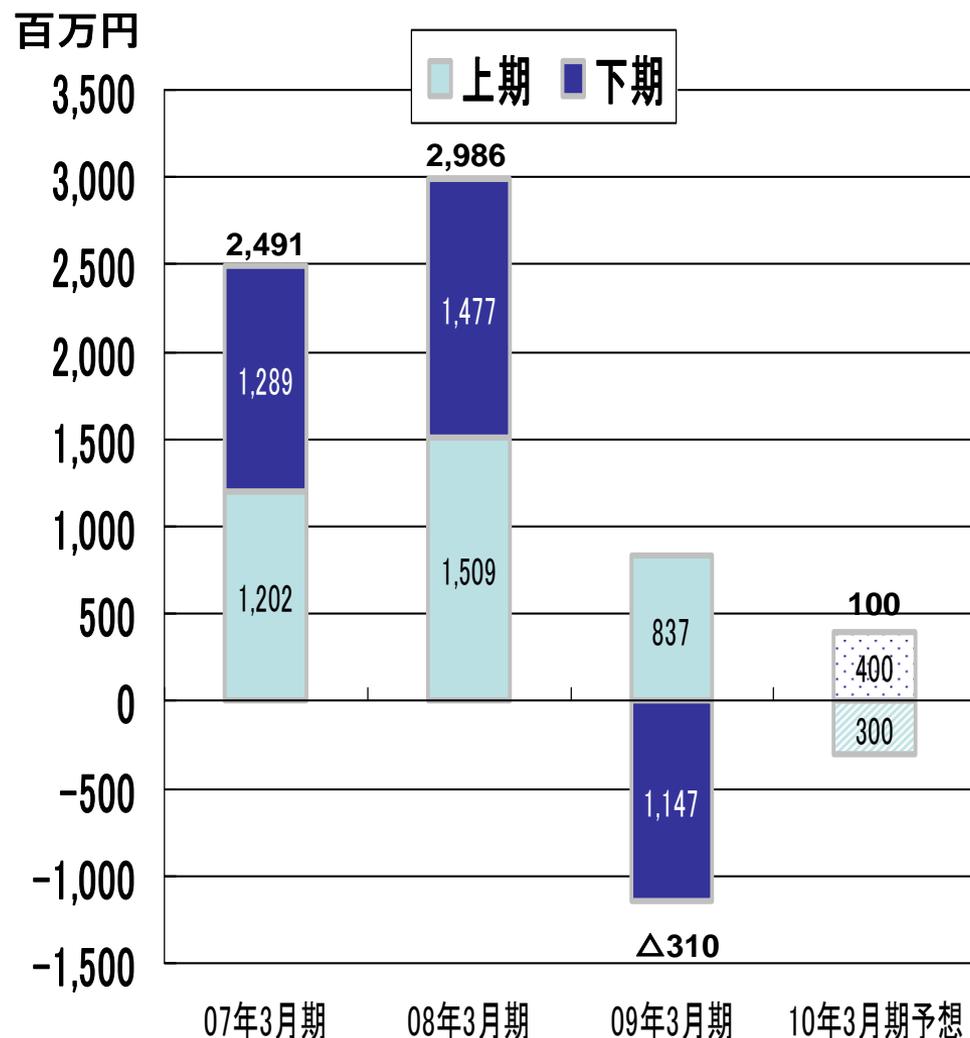
連結 営業利益推移



業績比較

- 当期営業損失
162百万円
- 前年同期比
3,171百万円減
- 2010年3月期予想
0百万円
- 前年同期比
162百万円増

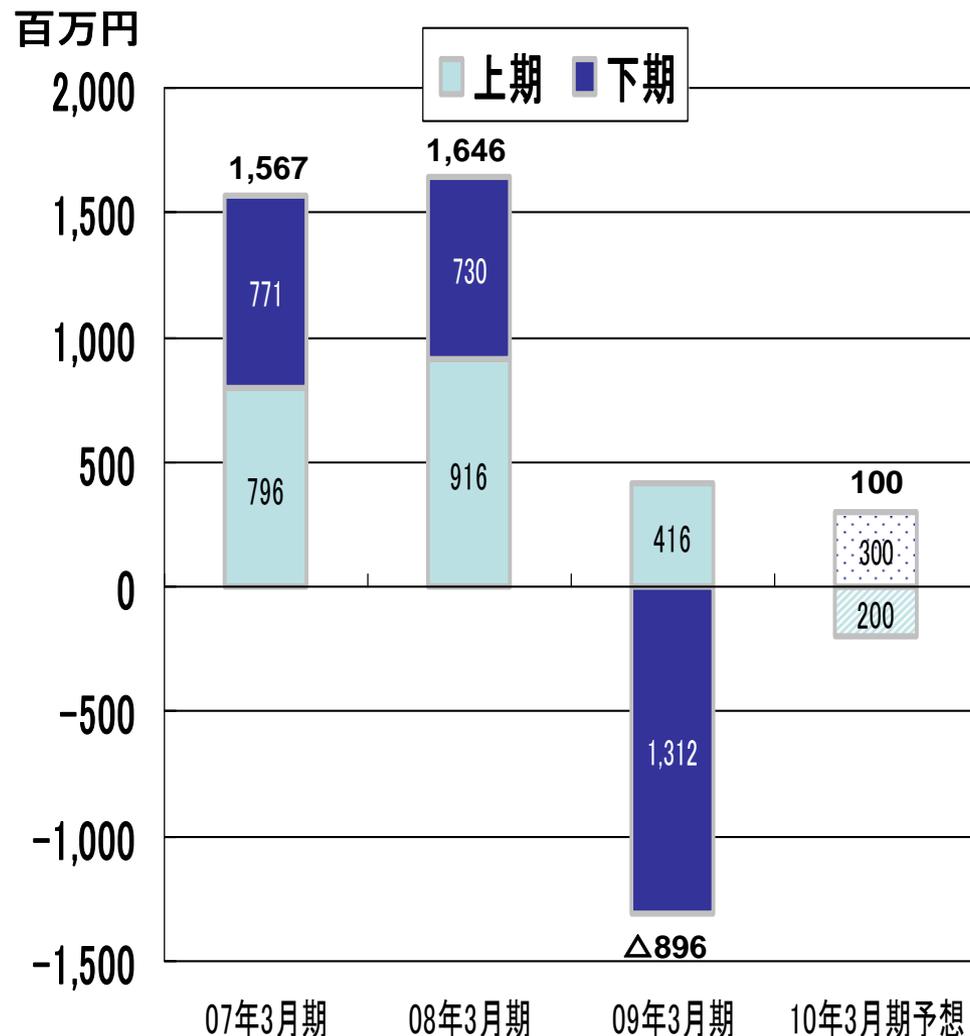
連結 經常利益推移



業績比較

- 当期經常損失
310百万円
- 前年同期比
3,296百万円減
- 2010年3月期予想
100百万円
- 前年同期比
410百万円増

連結 当期純利益推移



業績比較

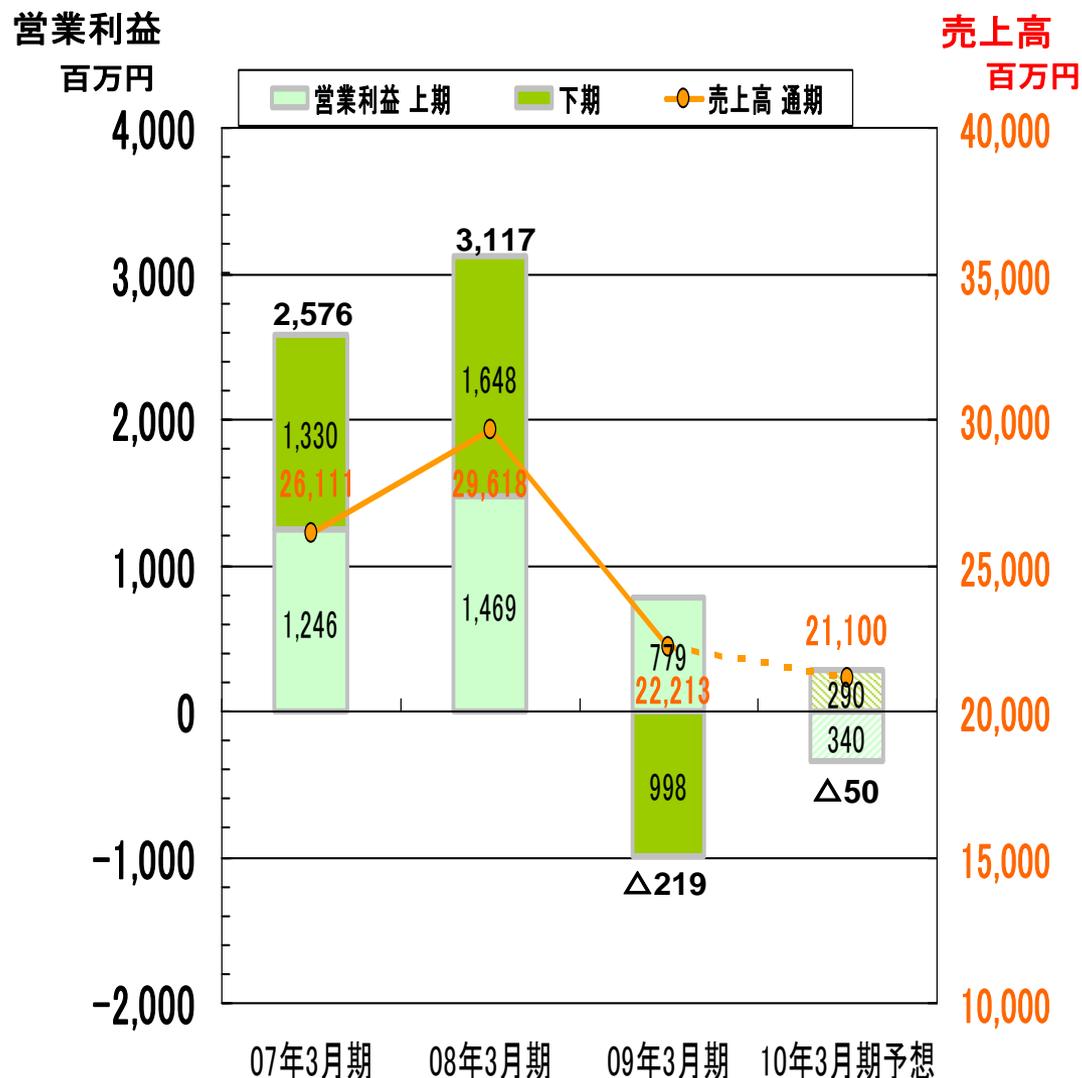
- 当期純損失
896百万円
- 前年同期比
2,542百万円減
- 2010年3月期予想
100百万円
- 前年同期比
996百万円増

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第47期 (07年3月期)	第48期 (08年3月期)	第49期 (09年3月期)
営業C/F	2,816	2,522	947
投資C/F	△ 1,499	△ 2,954	△ 2,069
財務C/F	△ 978	△ 1,357	277
現金等有高	7,156	5,544	4,531

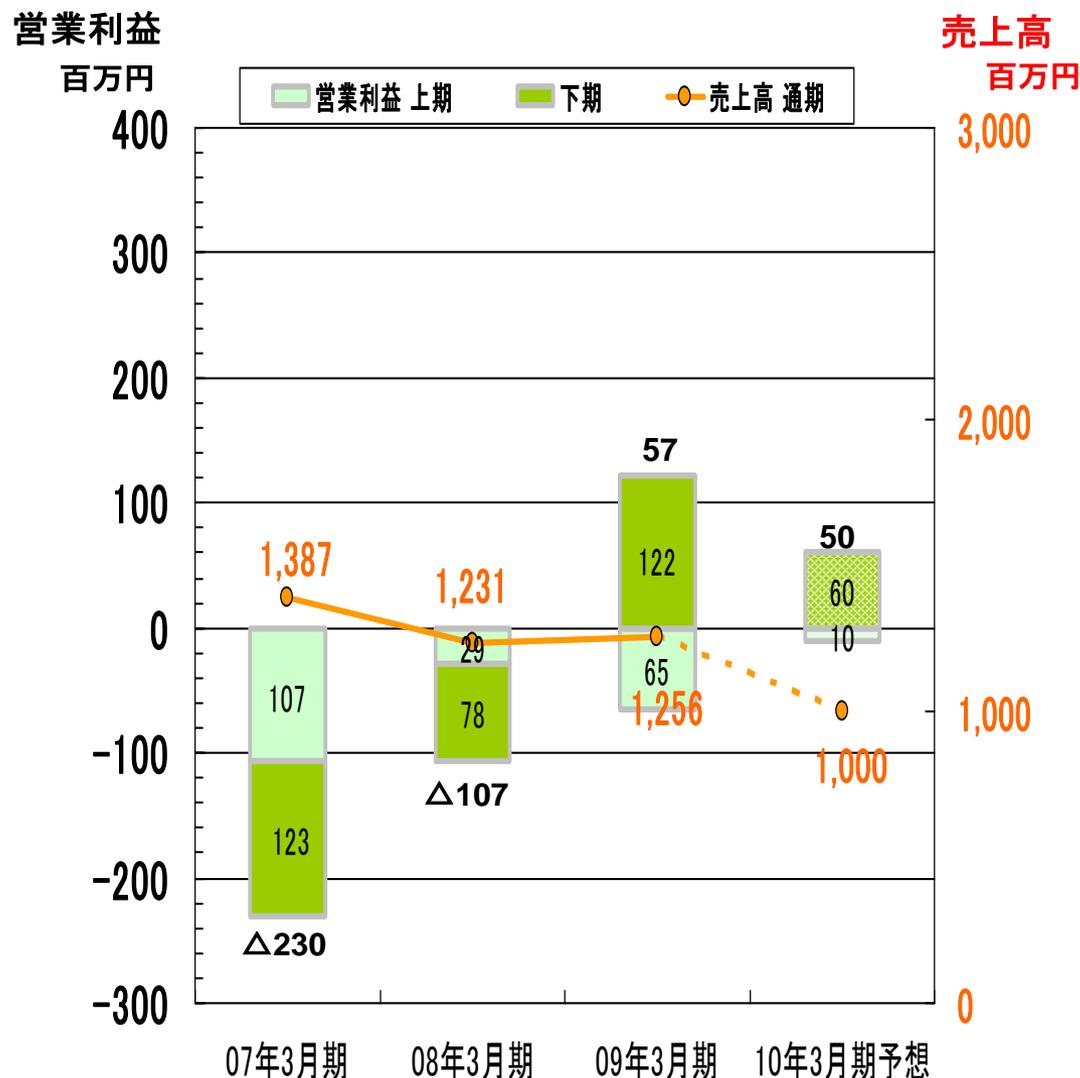
連結 機能性フィルム事業部門 売上高営業利益推移



業績比較

- 当期営業損失
219百万円
- 前年同期比
3,336百万円減
- 液晶部材用拡散フィルムの出荷量の大幅な減少、およびハードコートフィルムの売上減少

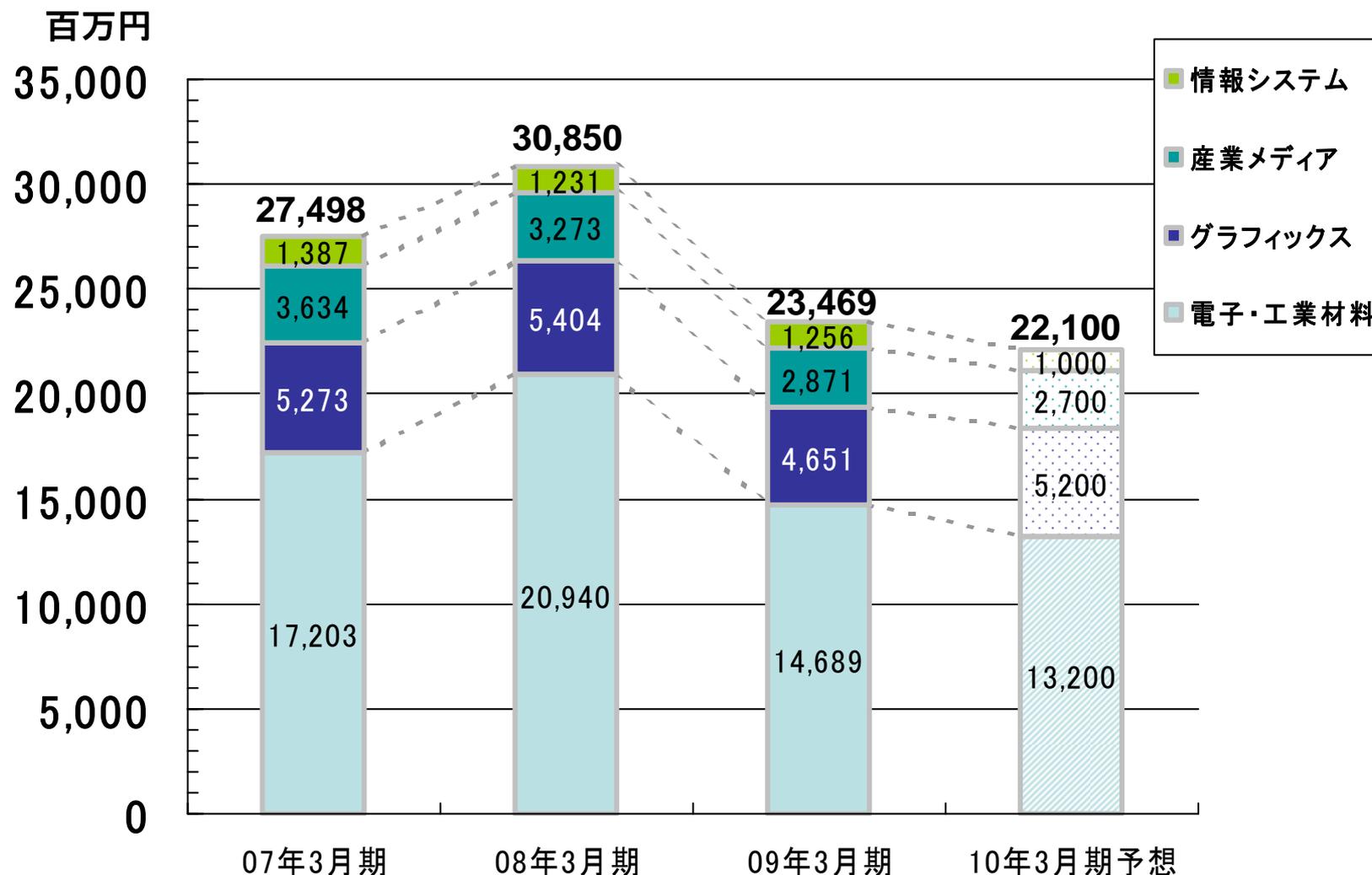
連結 情報システム事業部門 売上高営業利益推移



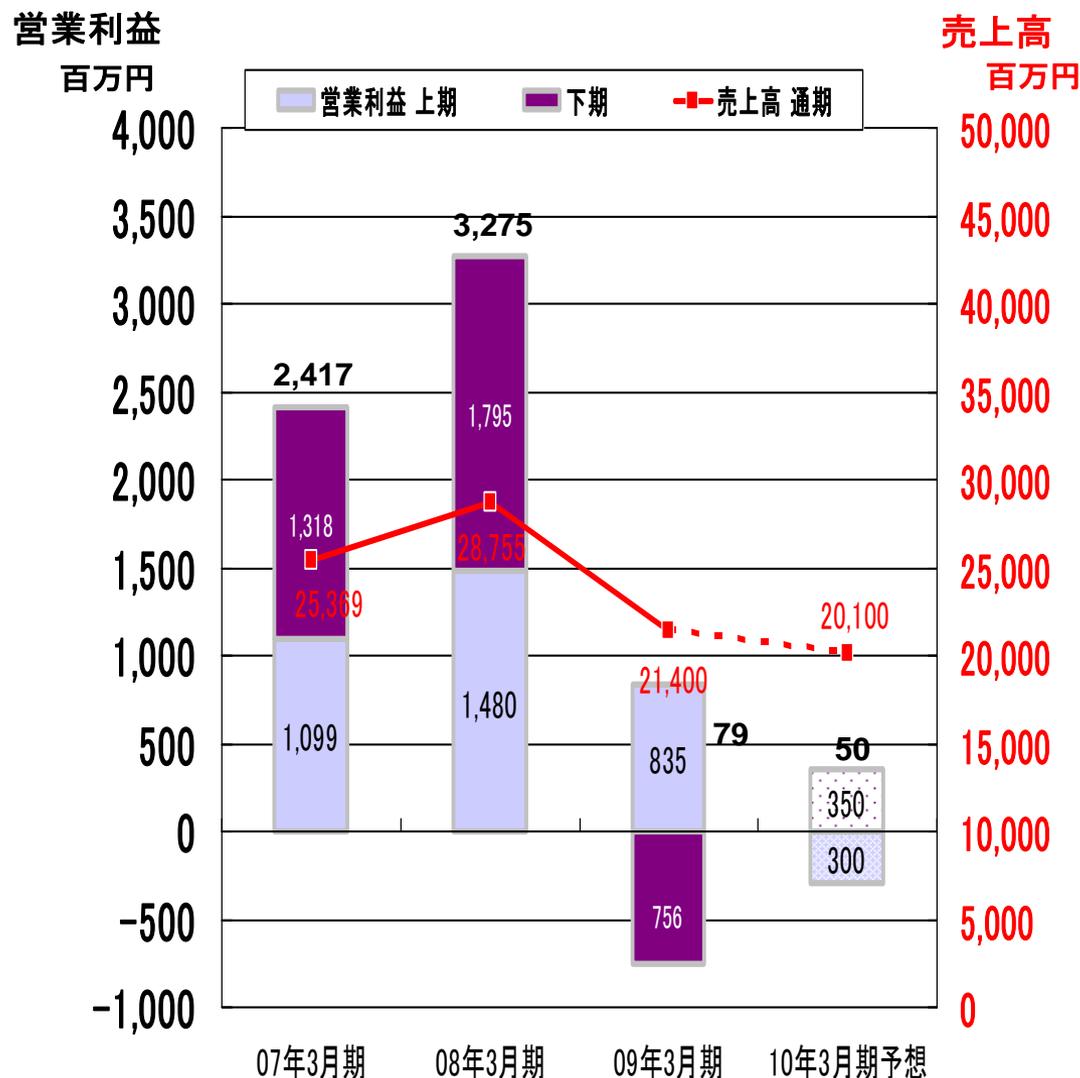
業績比較

- 当期営業利益
57百万円
- 前年同期比
164百万円増
- 官公庁向け受託営業
での売上増加
- 収益構造の改善および
生産性の向上により利益
を確保

連結 事業別 売上高推移



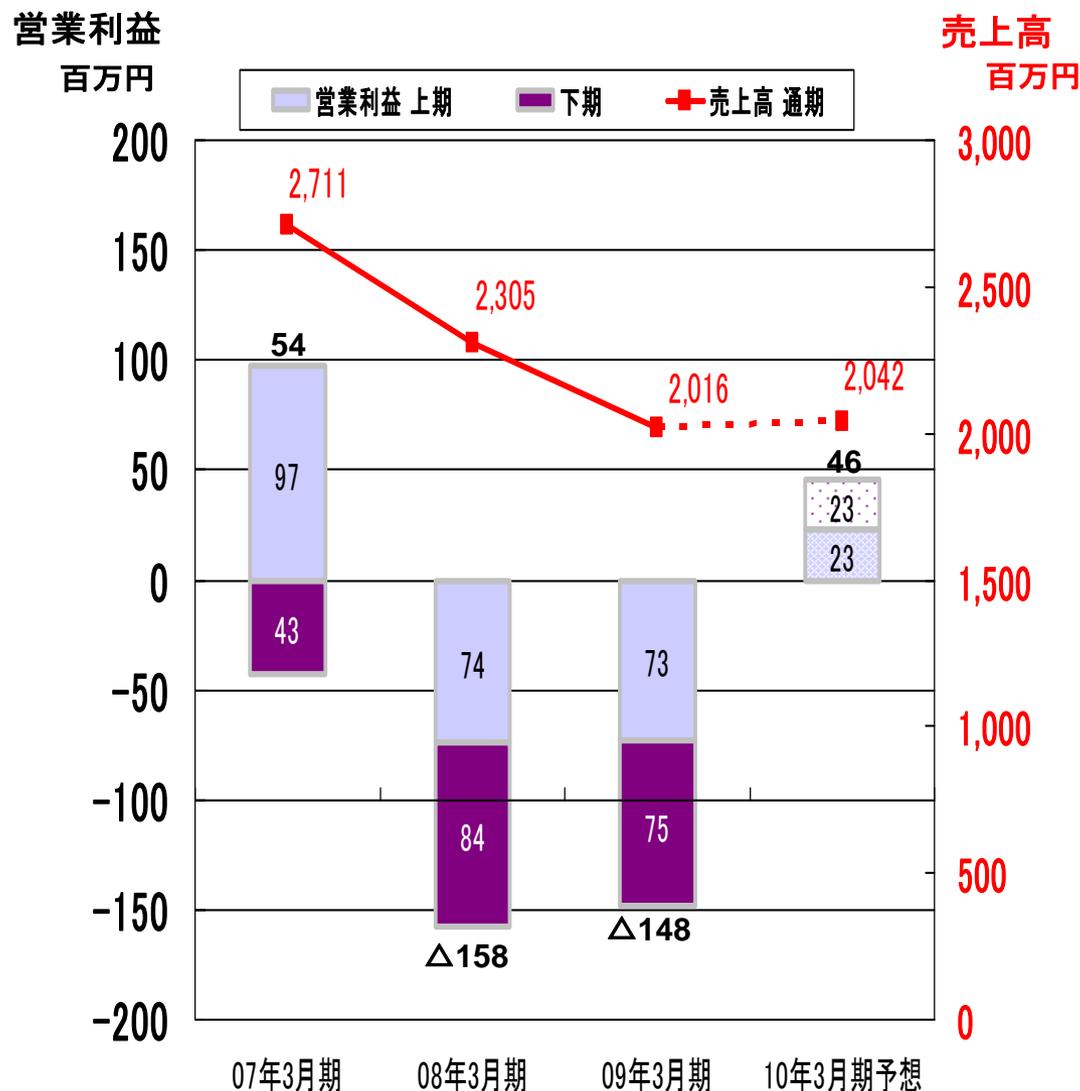
連結 所在地別(日本) 売上高営業利益推移



業績比較

- 当期売上高
21,400百万円
- 前年同期比
7,355百万円減
- 当期営業利益
79百万円
- 前年同期比
3,196百万円減

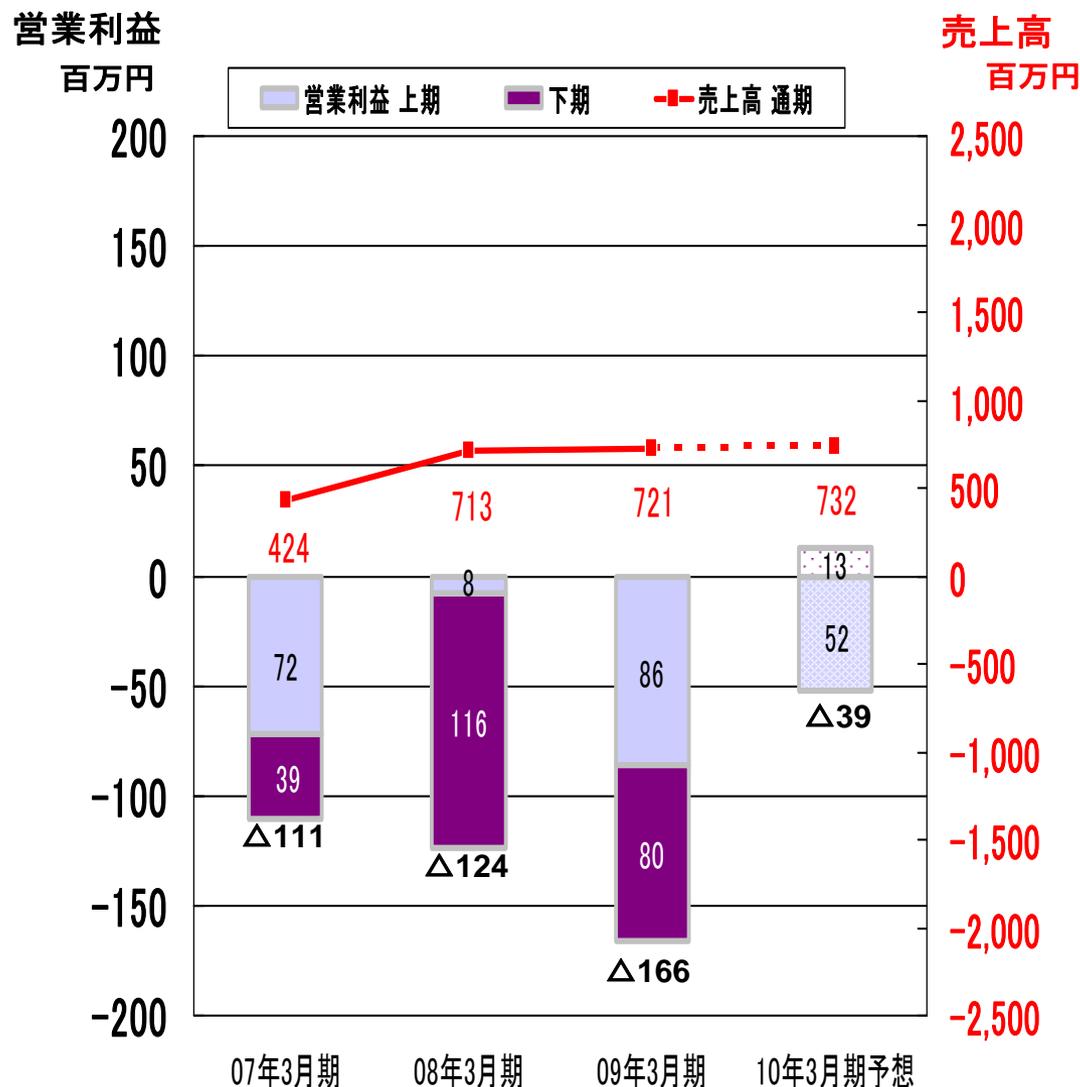
連結 所在地別(北米) 売上高営業利益推移



業績比較

- 当期売上高
2,016百万円
- 前年同期比
289百万円減
- 当期営業損失
148百万円
- 前年同期比
10百万円増

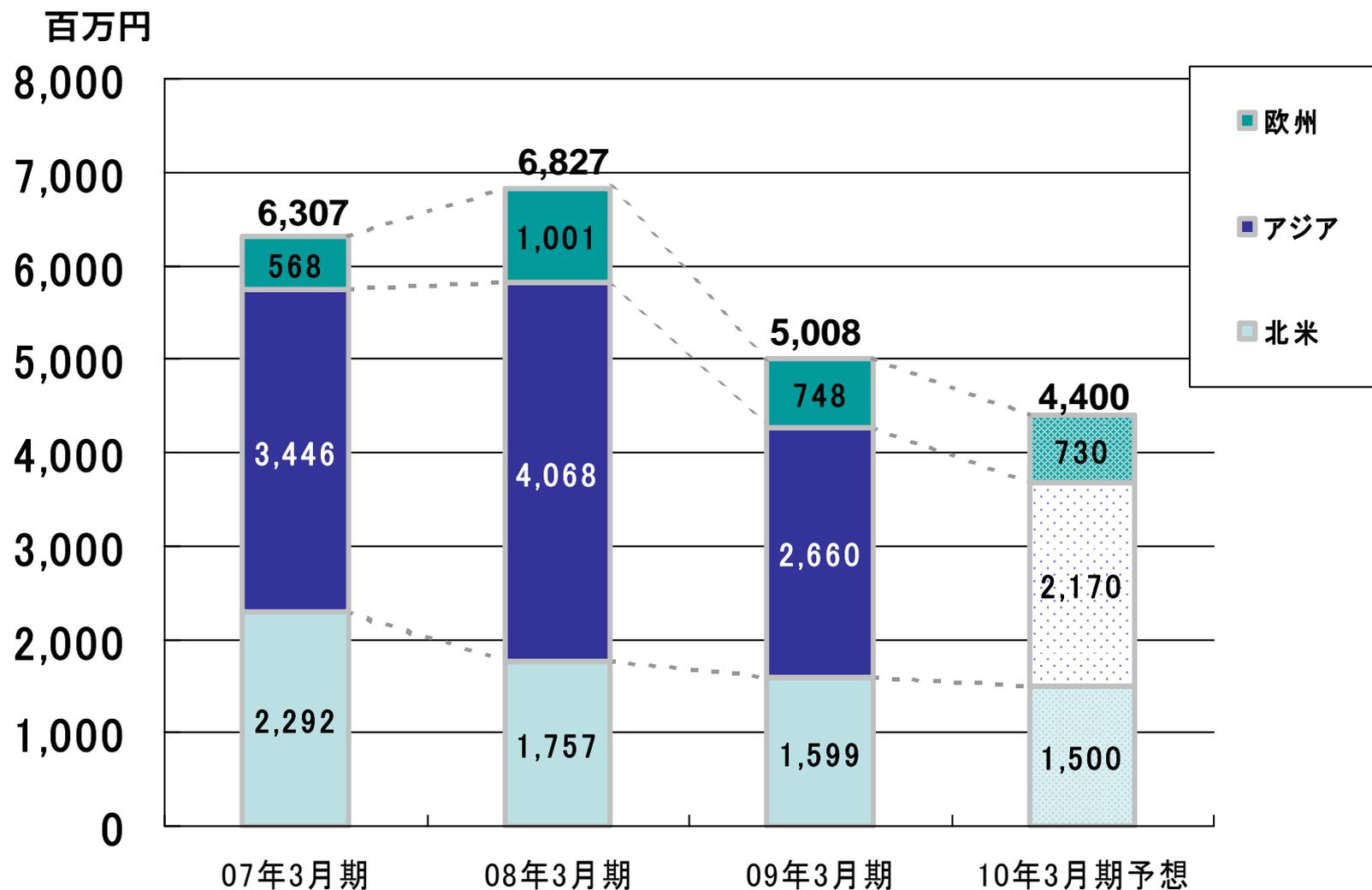
連結 所在地別(欧州) 売上高営業利益推移



業績比較

- 当期売上高
721百万円
- 前年同期比
8百万円増
- 当期営業損失
166百万円
- 前年同期比
42百万円減

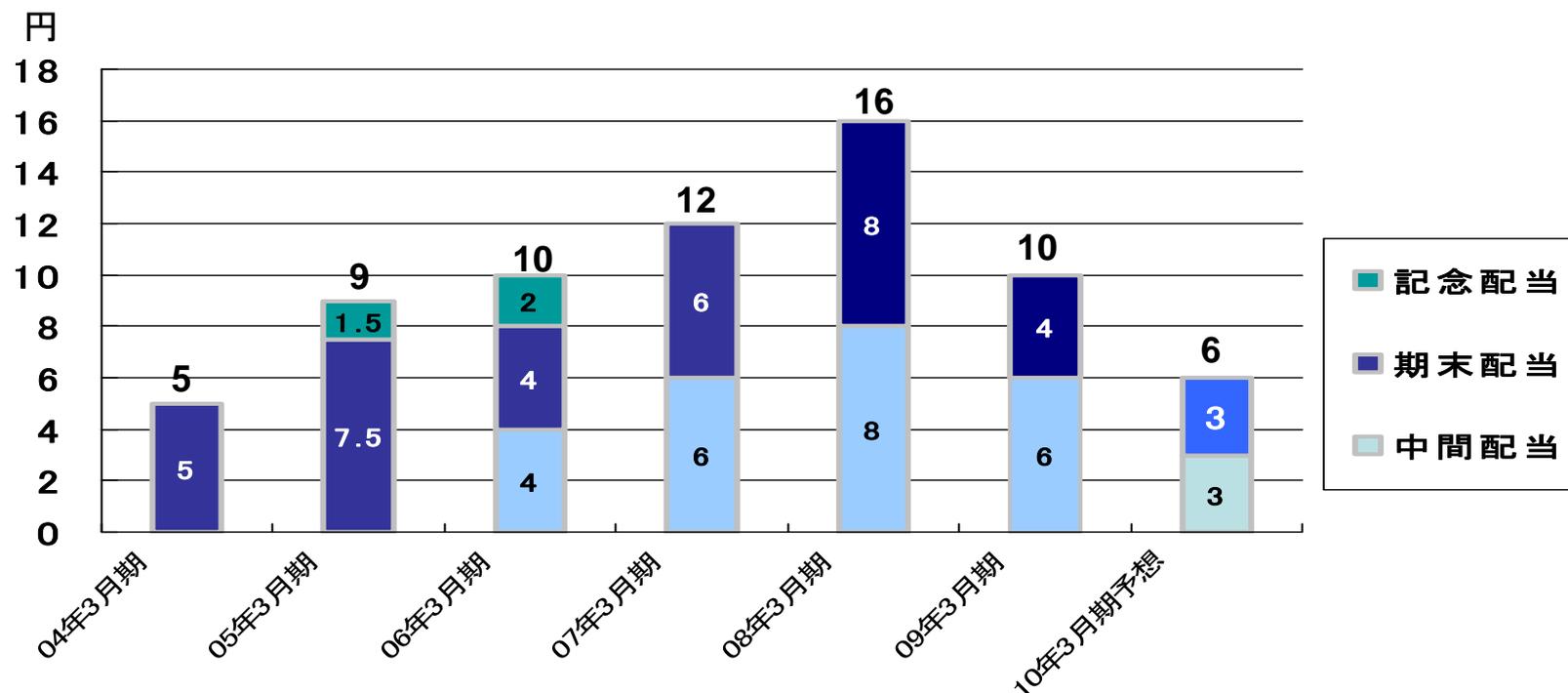
連結 海外売上高推移



株主還元

期末配当: 1株につき4円(前年同期比4円減配)

年間配当予想10円(前年比6円減配)



※07年3月期中間以前の配当金は株式分割後、調整済みの数値を記載しています。

株主還元

自己株式の取得結果

- 取得株式数 30万株
(発行済株式総数に対する割合1.10%)
- 取得総額 91,278,900円
- 取得期間 08年11月12日～08年12月12日
- 取得方法 東京証券取引所における市場買付

連結 通期見通し

(単位:百万円)

	2010年 3月期予想	2009年 3月期実績	増減	
売上高	22,100	23,469	△1,369	△5.8%
営業利益	0	△ 162	162	—
経常利益	100	△ 310	410	—
当期純利益	100	△ 896	996	—

連結 事業別売上高 通期見通し

(単位:百万円)

	2010年 3月期予想	2009年 3月期実績	増 減	
電子・工業材料	13,200	14,689	△1,489	△10.1%
グラフィックス	5,200	4,651	549	11.8%
産業メディア	2,700	2,871	△171	△ 6.0%
情報システム	1,000	1,256	△256	△20.4%

2010年3月期 営業計画

常務取締役 営業本部長
武田 詔一

営業方針

【パラダイムの転換】

0ベースからの発想 <考える力>

- すべての事業の再点検と新市場づくり

2010年3月期事業部門別売上予想

単位：百万円

	2009年 3月実績	2010年 3月予想	前期比
機能性フィルム事業部門	22,213	21,100	95.0%
電子・工業材料	14,689	13,200	89.9%
グラフィックス	4,651	5,200	111.8%
産業メディア	2,871	2,700	94.0%
情報システム事業部門	1,256	1,000	79.6%
合 計	23,469	22,100	94.2%

機能性フィルム事業部門

新市場づくり

- 環境製品の着実なマーケットイン(2億円)
- 粘着ビジネスの本格的立上げ(3億円)
- ハードコートフィルムの用途開発の強化

電子・工業材料事業

ワールドワイドでハードコートフィルムの拡販

- 新設コーティングマシンの早期稼動(2009年8月予定)
タッチパネル向けの増産(前期比30%増)
- 拡散フィルムは中小型をメインに利益の確保
- 粘着フィルムの拡販
- 東アジア地域の営業強化
 - 稀本商貿(上海)有限公司の売上拡大
 - 営業支援を強化(国内営業との連携強化)
 - ヨーロッパ市場のマーケティング強化

グラフィックス事業

No.1 サプライヤーを目指す

- CRMの導入でユーザーとの関係強化
- 取扱品の幅を広げる(ソフト、情報加工)
- 次世代ダイレクト刷版システムの拡販
アメリカ市場で先行販売(7月)

産業メディア事業

環境製品を主力製品に育てる

- 環境製品の拡販

セルフクリーニングフィルムの市場づくり

高速道路遮音板、外食チェーン店の看板

- 新製品の早期上市

セルフクリーニングフィルム＋透明熱線カット＋飛散防止

防曇フィルム＋抗菌フィルム

情報システム事業部門

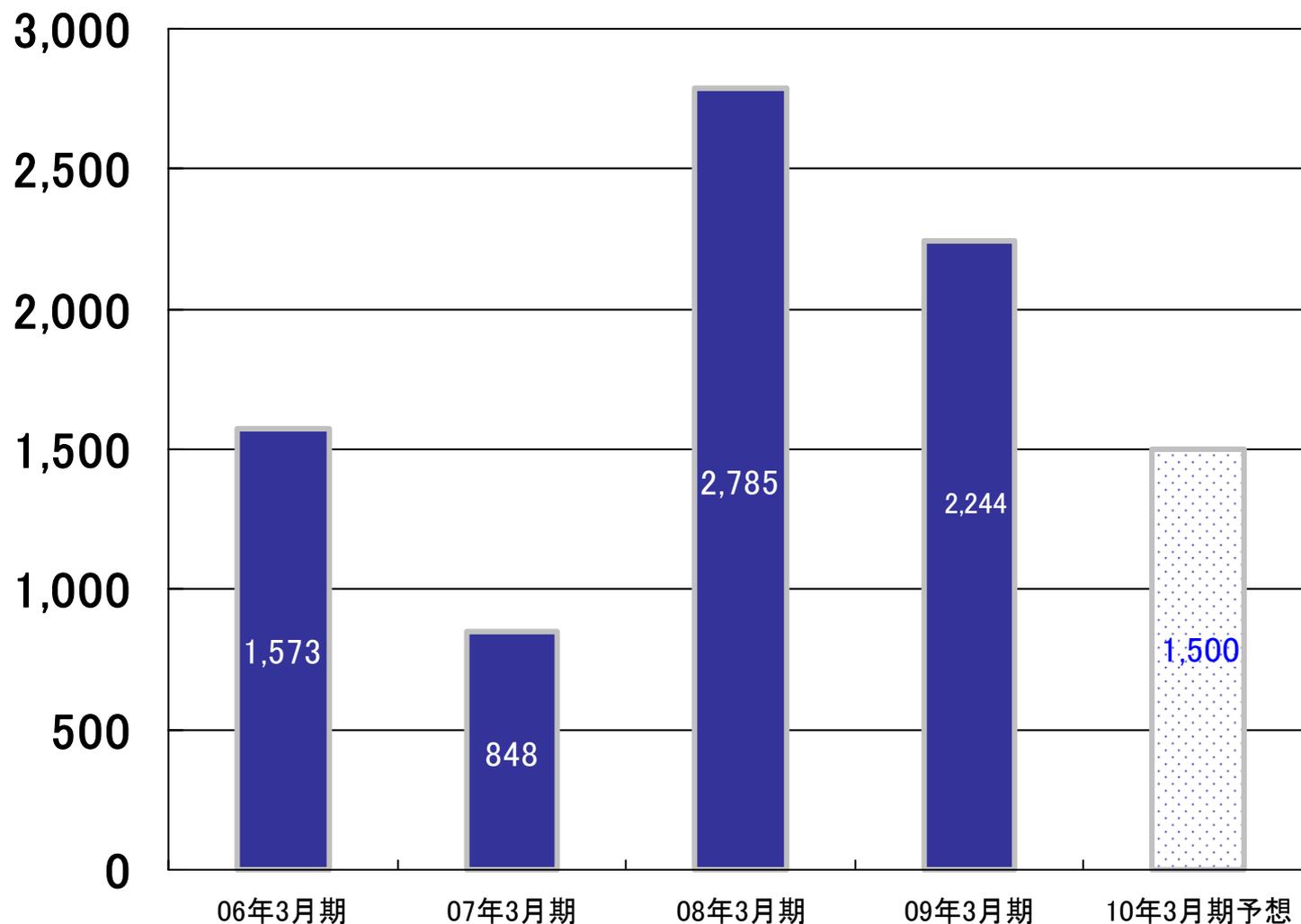
選択と集中で黒字の継続

- 中央省庁からの受注強化
- 光通信ビジネスの売上増

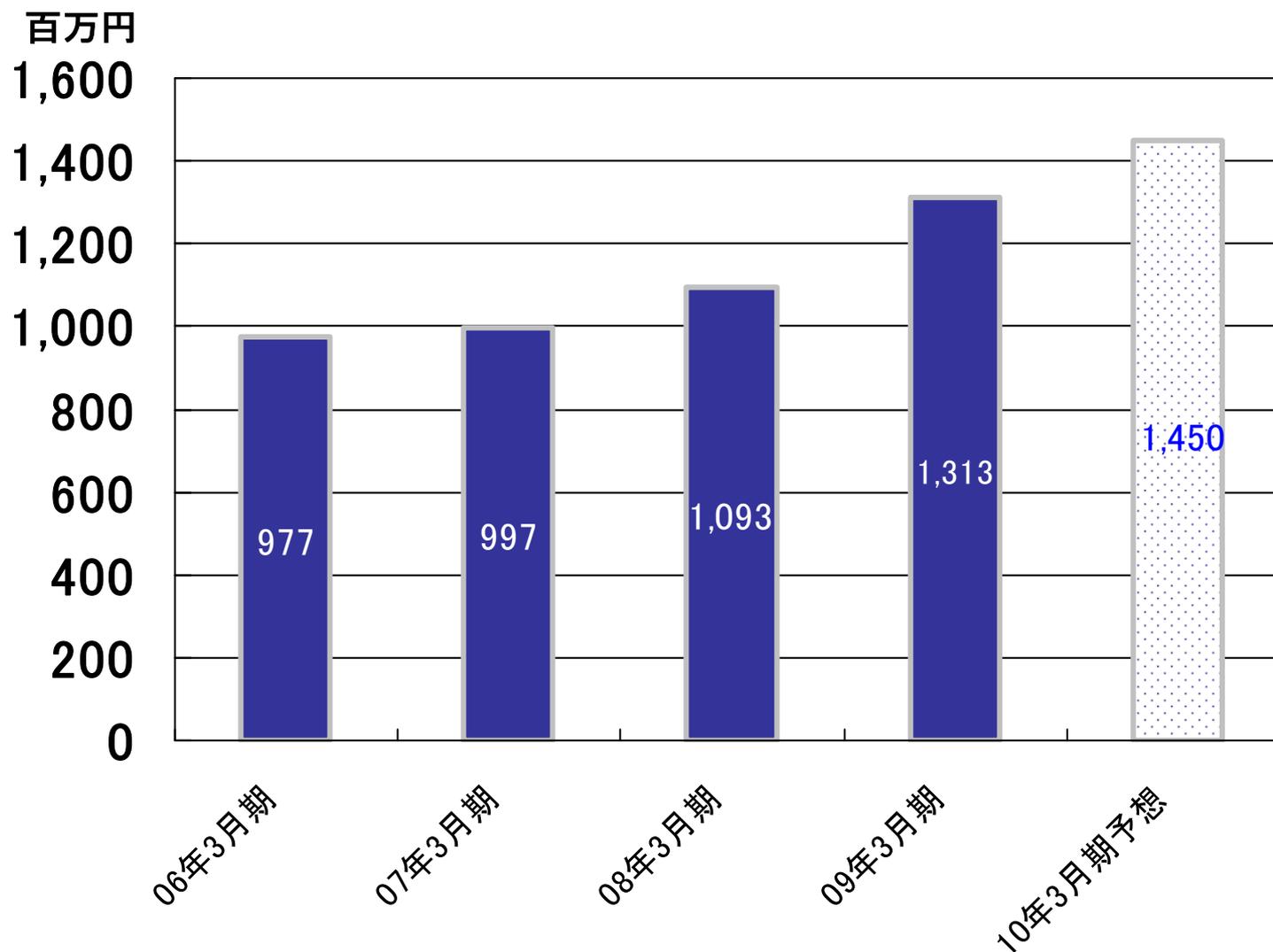
参考データ

連結 設備投資額

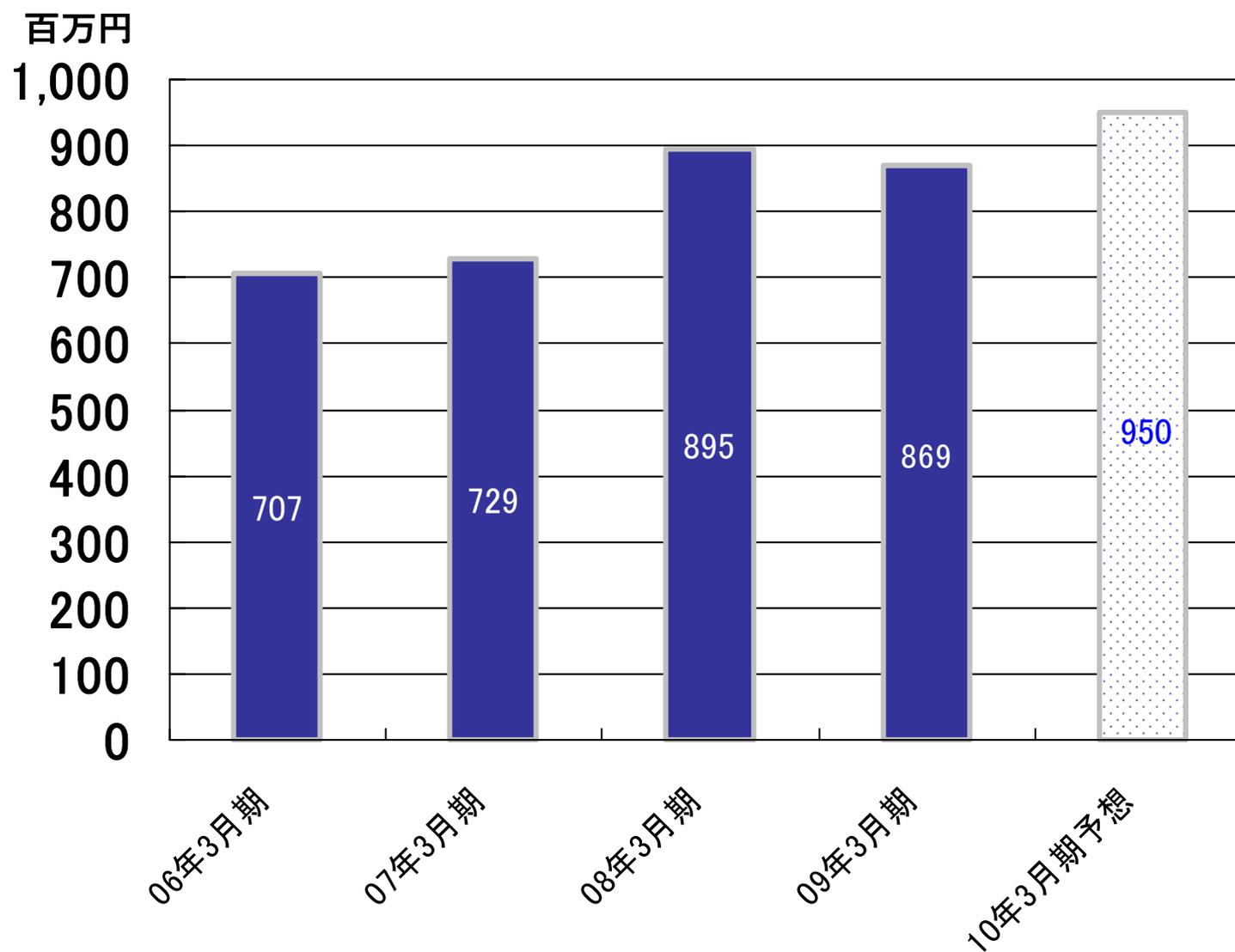
百万円



連結 減価償却費



連結 研究開発費



【業績予想等に関する注意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する計画・見通しに基づく予測であります。多様な不確定要因により実際の業績が記載の予想値と大幅に異なる可能性があります。